

令和8年3月14日

令和7年度 第3回 大阪市立鳴野小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立鳴野小学校

校園長名 崎本 靖朋

日時	令和8年3月12日(木) 18時00分～19時00分(60分)	
場所	大阪市立鳴野小学校 校長室	
出席者	委員など	6名
	校園	2名(校長、教頭)
	区役所	1名
議題	(1) 令和7年度「運営に関する計画」(最終評価)について (2) 令和7年度「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」の結果と公表について (3) 「学校関係者評価」について	
協議要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) 最終評価において、取組内容及び達成状況に関して理解を得た。	○企業で行われている働き方改革の実践として、業務の機械化や業務量を減らすまたは業務をなくすと劇的な時間の短縮につながっている例がある。教育の現場として学校での改革は非常に難しいと思うが、今後どう進めていくか。 ・教員にとって授業の教材研究が中心業務であり、それをデジタル教材・時には生成AI等も活用しながら効率化を図るようにする。 ・年度末に業務組織改革(学校行事部会)に取り組み、行事の精選等協議し、一定の方向性を出した。ただし、教育効果の面で削減は難しい現状もあり、新年度様々な行事に取り組み中で継続して検討していく。 ○不登校問題に関して、学校だけではなく、家庭環境も要因の一つではないか。 ・様々な事由があり、なかなか学校での取り組みだけでは解決が難しい面もあるが、本年度、行政の力(城東フラット等)を借り、改善した例もある。学校、保護者、行政など連携を図りながら改善していきたい。
	(2) 「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」の結果を見て、これまでの取り組みに関して理解を得た。	○運動能力について心配な面があるが、日中、学校の運動場から聞こえてくる子どもたちの元気な声を聴くと嬉しくなる。体育の体操の号令なども聞いていて気持ちのいいものである。社会人になった時にもあいさつなど声は基本であるので、日々「声を出す」という取り組みを今後も継続して行っていただきたい。
(3) 「学校関係者評価」について、ご意見をいただいた	・1年を通して、学校の取り組みを評価する。	
協議資料	・令和7年度「運営に関する計画」(最終評価) ・令和7年度「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」検証シート	
備考	傍聴者[ 0 ]名	